



出前授業を行いました!! ～ 雲雀丘学園小学校 ～

12月4日（水）兵庫県宝塚市の雲雀丘学園小学校5年生143名に出前授業を行いました。

1時間目の45分間は、5年生全員に「国有林について」、「林業ってなに？」の講義を行い、3時間目から6時間目まではクラスごとに丸太切りの体験とスギ・ヒノキの話や林齢の確認方法を学習しました。

1時間目の質問では、学校で習っていることもあり「山の木を1度にどれくらい伐採するのか」、「伐採に使用するチェーンソーの価格は？」などに加え、「立木を伐採するとき両側ともに切るのはなぜか」との専門的な質問に、説明した職員もびっくりしました。

3時間目からの丸太切りでは、学校で準備した丸太切りの台7カ所に12cm程の丸太をセットし、児童には切り役・抑え役をそれぞれ体験してもらい、丸太切りの途中では、「腕がだるい」などの弱音を吐く児童もいましたが、全員が自分の力で切ることができました。

最後は、切ったヒノキの匂いを嗅ぎ「良いにおいがする」、「家に持って帰る」などの感想があり、大変うれしく思いました。本日の出前授業では、林業の話や体験を通して人と森林や木材との関りを伝えられたことに加え、たくさんの質問や一所懸命に話を聞く姿が印象的でした。



講義の様子



質問する児童



何歳かな？

「1人ずつ切っています！」



職員より説明



丸太切り体験



カブトムシ里親まつりを開催しました

冬の気配を感じる初冬の令和7年12月14日（日）、箕面国有林「エキスポ‘90みのお記念の森」において、「カブトムシ里親まつり（植樹編）」に2家族7名の方に参加いただき開催しました。今回は、クヌギの苗木を植える取組で、日本森林ボランティア協会の皆さまに植栽木を植える穴掘りや植栽補助のお手伝いをさせていただきました。

初めに、NPOクワガタ探検隊の西さんから創作紙芝居「ニジイロくんの旅日記」を見て、「命が一番」命の大切さを学びました。

その後、クヌギの植樹場所に移動し、日本森林ボランティア協会の松村さんから植栽時に「枝やおち葉を入れない」「苗木と土が密着するようにする」との指導を受け、2m余りの大きな苗木6本を親子で丁寧に腐葉土や土を敷き詰めて植栽しました。林内で作業する参加者は、土壌表面を小さな根が覆い、簡単に掘れないことで土砂が安定していることや草木の根が張ることでしっかり土の動きを止めていることを実感していました。

親子で声かけながら植えたクヌギがすくすくと育ち、多くの生き物の支えとなることを期待してイベントを終えました。



創作紙芝居『ニジイロくんの旅日記』



敷き詰め作業



松村さんの植樹指導



参加者集合

